

しら いち

白市地区街なみ環境整備事業

白市地区は、平安時代末期に現在の養国寺の門前町として形成され、江戸時代からは商業の町として繁栄し、歌舞伎・サーカスの興業が行われるなど、賑わいのある町であった。

地区内には、国の重要文化財である木原家住宅をはじめ、古くからの町屋や赤瓦の家並みが残されており、景観に配慮した街づくりを進めている。

具体的には、平成15年10月に策定された「東広島市白市地区景観形成要綱」で定められた景観形成区域を対象として、平成16年度には街なみ環境整備事業により、「街なみ環境整備方針」を策定。この方針をもとに、平成17年度には「街なみ環境整備事業計画」を策定し、平成18年度から順次地区施設等の整備に着手している。

■計画概要

事業内容: 地区面積 8.6ha

小公園

道路美装化

案内看板設置 等

事業期間: 平成18年度～平成27年度

事業主体: 広島県東広島市

位置図



東町白山公園



案内看板



道路の美装化

